



平成28年5月6日

各位

上場会社名 株式会社 文溪堂  
 代表者 代表取締役社長 川元 行雄  
 (コード番号 9471)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 渡邊 明彦  
 (TEL (058)398-1111)

## 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表しました平成28年3月期の業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,320	445	440	260	40.89
今回修正予想(B)	11,429	538	582	356	56.07
増減額(B-A)	109	93	142	96	
増減率(%)	0.9	20.9	32.3	37.1	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	11,251	698	697	433	68.25

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,020	405	400	244	38.38
今回修正予想(B)	10,154	517	562	390	61.42
増減額(B-A)	134	112	162	146	
増減率(%)	1.3	27.7	40.6	60.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	9,946	575	563	354	55.70

#### 修正の理由

個別業績予想につきましては、売上高は出版部門においてテスト・ドリル等の主力商品が好調であり、また教具部門においても画材関係などを中心に販売数が伸び、全体として増収となる見通しであります。

損益につきましては、売上高の増加に加え、編集業務における製造工程の見直しや、製作数の見直しによる採算性の向上により、営業利益が増益となる見込みであります。

また、営業外収益として役員の受取保険金が発生したこと、市場売買目的の株式の一部を売却し特別利益が発生したことから、経常利益、当期純利益においても当初予想を上回る見通しであります。

連結業績予想につきましては、主に個別業績予想の修正に伴うものでありますが、子会社において繰延税金資産の取り崩しが発生し、税金費用が増加する見込みであります。

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年5月14日発表)	—	7.70	—	7.70	15.40
今回修正予想	—	—	—	16.90	24.60
当期実績	—	7.70	—		
前期実績 (平成27年3月期)	—	9.85	—	12.45	22.30

### 配当政策の基本方針

当社の利益配当につきましては、長期にわたり安定的な経営基盤の確立に努めるとともに、安定した利益配当を継続的に実施することを最重要課題として位置づけており、従来からの安定的な配当を行うことに加え、業績連動型の配当を行うことを方針としております。

具体的には、株主の皆様に対する利益還元をより一層充実させる観点から、文溪堂単体の当期純利益の40%相当額を目処に年間配当金総額を決定しております。

なお、利益水準にかかわらず最低年間配当金として、1株当たり7円50銭を目標といたしております。

### 修正の理由

上記の基本方針に基づき、本日公表の通期業績予想を踏まえて、期末配当金につきましては、当初予想に対して1株当たり9円20銭を増額し16円90銭とさせていただきます。

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上